

# カラス避け WILDLIFE-SOUND1

本装置は、野生鳥獣のDNAに書かれた天敵の鳴き声を利用して、本装置が設置された場所への接近を防ぐことを目的としたものです。

単純な爆音機とは異なり、設置することで近隣からのクレームはまず生じません、むしろ懐かしいと。具体的には、果樹園ほか耕作被害、観光地の糞害、ソーラー発電施設への悪さ等などへの対策です。彼らの学習能力に負けない工夫が施してあります。

使用電源:DC12V

バッテリー、電源アダプタ、ソーラー・パネルを使った独立電源に対応します(これら電源装置は、オプション/別売)。

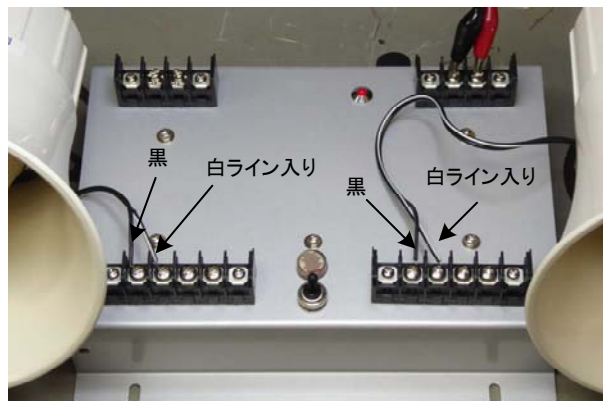
本機だけの使用ですと、DC12V 平均80mA程度と、省電力設計(スリープ時は、15mA程度)。

バッテリー運用でも、ワン・シーズン実用に供します(32Ah普通車搭載バッテリーで、連続400時間稼働と試算できます)。

モデルは、2タイプ(ご注文時に、選択いただきます)

人感センサ、あるいはタイマの利用による接点信号により駆動するモデルと、光量によって動作するモデルの2タイプ。

2モデルとも、外観は同じです(共通)



実際の設置には、本体とセットの屋外用スピーカーを接続して使用します(端子左端2:黒 端子3:白ライン入り)。



園地に設置する =光量Typeの例=

明るさでON-OFFできるように透明蓋の屋外用防水キャビネットに収納します。

配線は、ケーブルグランドを通して行い、防水性を維持します。

ワン・シーズンであれば、普通車用のバッテリー1個で交換することなく運用できます。

一般に農家の方は器用で、自分でなんでも出来る方も少なくありませんが、このような計装作業が、販売業者さまの付加価値に繋がります。最初から、このようにセットしたご提供も可能です。

## 設置における注意点ほか

カラスたちに、人が関わっていることを知られないよう注意をして下さい。

これ見よがしに鳴らしたりすることは、最悪のパターンとお考え下さい。

装置を隠す、スピーカーも隠して、二つを離して設置します(二つ同じ条件での再生ではありません)。

朝夕の時間帯だけ鳴らす、あるいはわざと停止させるなど、運用の変化が奏効するケースもあります。

時として、本物のトンビがやってきたりしますが、これはカラス避けとしてはプラス効果です。